

## 第47週の発生動向(2007/11/19~2007/11/25)

1. 咽頭結膜熱については、東地方+青森市保健所管内において、第45週から**警報**が続いています。
2. 感染性胃腸炎については、青森市及びむつ保健所管内において、多い報告数が継続していることから、今後、注意が必要です。
3. 麻疹については、弘前保健所管内において、新たに**注意報**が出されています。
4. 急性出血性結膜炎については、青森市保健所管内において、新たに**警報**が出されています。
5. インフルエンザについては、弘前保健所管内において、急激に増加している(先週11人 **当該週98人**)ことから他の地域においても注意が必要です。型別については、迅速診断キットにより、弘前保健所管内がA型:98人、上十三保健所管内ではA型:6人です。

## 第47週五類感染症定点把握 注:五類感染症定点把握疾病の警報・注意報については、二次保健医療圏単位で判定しています。

保健所名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)	東地方(再掲)		青森市(再掲)		定点数				
	疾患番号・疾患名	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数		定点	数	定点	数	定点	インフルエンザ(内科+小児科)	小児科	内科	基幹
(100) インフルエンザ	2	0.14	98	6.53					6	0.67			106	1.63	95			2	0.17					
(72) RSウイルス感染症	1	0.11	3	0.33	1	0.11	2	0.40					7	0.17	-3			1	0.13					
(73) 咽頭結膜熱	33	3.67	4	0.44	1	0.11	2	0.40	1	0.17	6	1.50	47	1.12	14	2	2.00	31	3.88					
(74) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	9	1.00	10	1.11			1	0.20	7	1.17	6	1.50	33	0.79	-15	2	2.00	7	0.88					
(75) 感染性胃腸炎	40	4.44	25	2.78	19	2.11	8	1.60	36	6.00	54	13.50	182	4.33	2	7	7.00	33	4.13					
(76) 水痘	5	0.56	5	0.56	3	0.33	17	3.40	9	1.50	11	2.75	50	1.19	-15			5	0.63					
(77) 手足口病			14	1.56	1	0.11	4	0.80	1	0.17	1	0.25	21	0.50	-14									
(78) 伝染性紅斑			1	0.11					1	0.17			2	0.05	1									
(79) 突発性発疹	4	0.44	2	0.22	1	0.11	3	0.60	3	0.50	3	0.75	16	0.38	0	1	1.00	3	0.38					
(80) 百日咳															0									
(81) 風しん									1	0.17			1	0.02	1									
(82) ヘルパンギーナ															-2									
(83) 麻疹(成人を除く)			7	0.78			1	0.20					8	0.19	4									
(84) 流行性耳下腺炎	9	1.00	1	0.11	5	0.56	2	0.40	1	0.17	2	0.50	20	0.48	16			9	1.13					
(86) 急性出血性結膜炎	2	1.00											2	0.18	2			2	1.00					
(87) 流行性角結膜炎	2	1.00	1	0.33			5	5.00					8	0.73	-1			2	1.00					
(95) マイコプラズマ肺炎					8	8.00					1	1.00	9	1.50	4									
東地方	2	1	1	0	0																			
弘前	15	9	6	3	1																			
八戸	14	9	5	2	1																			
五所川原	7	5	2	1	1																			
上十三	9	6	3	2	1																			
むつ	6	4	2	1	1																			
青森市	12	8	4	2	1																			
合計	65	42	23	11	6																			

■ は警報 ■ は注意報 「空欄」: 患者発生数 0

表 以外の感染症法対象疾患 (注: 結核については4月1日からの累計で、届出数は速報値です)

- (9) 結核(二類全数把握疾患): 八戸2人、上十三1人、むつ1人、青森市2人 (19年計:171人)
- (34) つつが虫病(四類全数把握疾患): 青森市1人 (19年計: 10人)

## 感染症の窓

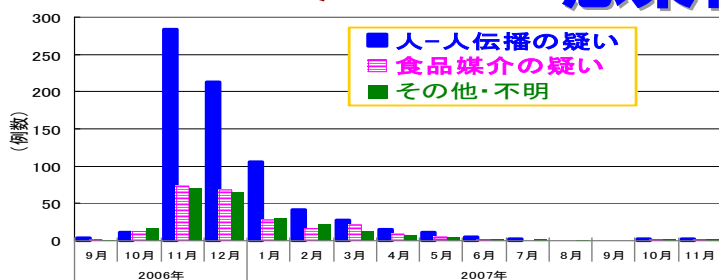


図1 ノロウイルス感染集団発生月別報告数(2006年~2007年)

統計データ: 国立感染症研究所まとめ病原微生物検出情報

## 感染性胃腸炎

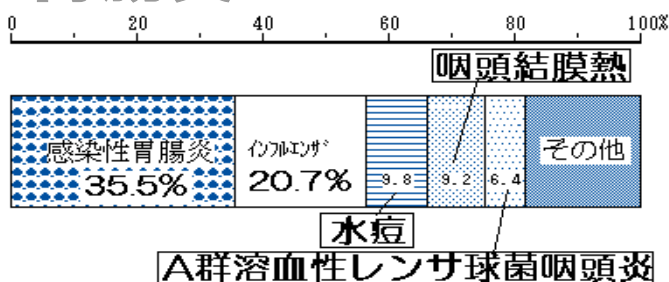


図2 第47週における上位疾病(青森県)

感染性胃腸炎は、種々のウイルスや細菌によって起こる嘔吐、下痢、腹痛を主症状とする感染症です。**11月から4月にかけて**の病原体は、主にノロウイルス(図1)とロタウイルスです。本県の感染症発生動向調査第47週では、感染性胃腸炎が最も多い割合を示しています(図2)。ウイルスは症状が消失しても糞便及び吐物中に大量に排出されることから、抵抗力の弱い子どもやお年寄りの居る家庭及び集団生活をしている施設等では二次感染を防止する対策も必要です。予防対策としては、**丁寧な手洗い、うがい**の他、熱を加える食品については**十分加熱して食べる**ことも必要です。患者吐物や便を処理するときには、**使い捨て手袋、マスク、エプロン**を着用し、拭き取る時には塩素系消毒剤(ハイターなど)で**静かに拭き取る**ことも大切です。